

特定非営利活動法人ピースオブマインド 活動予算書  
令和7年度 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員受取入会金	0	
賛助会員受取入会金	3,000	
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	20,000	
2.受取寄附金		23,000
受取寄付金	40,000	
3.受取助成金等		40,000
受取民間助成金	2,200,000	
受取補助金	600,000	
4.事業収益		2,800,000
フリースクール事業収益	4,698,000	
5.その他収益		4,698,000
受取利息	0	
雑収益	0	
経常収益計		0
II 経常費用		7,561,000
1.事業費		
(1)人件費		
給料手当	3,912,000	
福利厚生費	357,174	
法定福利費	360,000	
人件費計	4,629,174	
(2)その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	30,000	
減価償却費	0	
家賃	1,800,000	
リース料	106,000	
備品費	100,000	
広告制作費	30,000	
支払利息	0	
その他経費計	2,066,000	
事業費計		6,695,174
2.管理費		
(1)人件費		
役員報酬	10,000	
給料手当	0	
福利厚生費	0	
法定福利費	0	
人件費計	10,000	
会議費	0	
旅費交通費	0	
支払利息	0	
その他経費計	0	
管理費計		10,000
経常費用計		6,705,174

当期経常増減額		855,826
III 経常外収益	0	
1.固定資産売却益		
経常外収益計	0	
IV 経常外費用	0	
1.過年度損益修正損		
経常外費用計	0	
当期正味財産増減額		855,826
前期繰越正味財産額		-846,423
次期繰越正味財産額		9,403

- \* 1 設立(合併)の初年度と翌年度について、それぞれ別葉で作成する。
- 2 初年度分は、申請予定日からおおむね4か月後以降について作成する。
- 3 その他の事業を行う場合には、「他の事業会計 活動予算書」として別に作成する。
- 4 その他の事業を行う場合は、他の事業会計から特定非営利活動に係る事業の会計への繰出、繰入が明らかになる科目を設定して記載する。
- 5 不要な科目は、削除する。
- 6 次期繰越正味財産額は、次期事業年度活動予算書の前期繰越正味財産額と金額が一致することを確認する。